

診断書強要中労委不当命令糾弾！

1 月 3 1 日、診断書強要中労委の命令書（1 月 2 4 日付け）が交付されました。「初審命令を取り消し、本件救済申立てを棄却する」という不当なもので、その内容は、「協約や就業規則に疑義がある場合は幹事間折衝、苦情処理会議、年 2 回の定例的な団交（協改訂、賃金改定）で議論するのが慣行となっている」とか、「労使慣行に沿わない団交の申し入れ」だとか「他の労組から疑義が出された形跡がない」などなど、会社の主張におもねた偏った判断以外のなにものでもありません。

組合主張を無視した恣意的な命令を許さない！

組合がこの間主張してきた、年休は欠勤ではないということ、幹事間折衝も苦情処理会議も会社の一方的な判断が優先され常に対立を繰り返しており、団交に替わるものとして機能していないことなど、準備書面や審問で訴えてきた内容に一切触れず、初審で「難解」と評された会社のデタラメな主張も完全に無視されています。だから、訴えているにもかかわらずです！

私たちはこのような不当命令を断固糾弾し、組合員と職場の仲間の利益を守るためにさらに奮闘します！